

平成28年第1回広域紋別病院企業団議会定例会会議録（第1日）

1 開会日時

平成28年3月18日（金）

開会 午前10時00分

2 議事日程

日程第1 会期の決定

日程第2 一般質問 宮川正己君

日程第3 報告第1号 定期監査報告について

日程第4 議案第1号 平成28年度広域紋別病院企業団病院事業会計予算

3 出席議員（10名）

議長	石田久就君	副議長	矢野幸三君
2番	青木邦雄君	3番	柴田央君
4番	宮川正己君	5番	山中憲一君
6番	阿部秀明君	7番	森田寛君
9番	田村高志君	10番	村上伸夫君

4 欠席議員（なし）

5 説明員

企業長	千賀孝治君	事務局長	久保田政弘君
事務局次長	稲葉宏剛君	総務課長	西田尚市君
医事課長	伊藤聖君	事務部参事	河谷篤君
事務部参事	大野貴光君	建設整備室主幹	森谷裕一君
建設整備室主幹	鈴木英樹君	総務係長 兼建設整備室主査	藤原正樹君
職員係長	櫻庭あゆみ君	経営管理係長	泉康一君
医事係長	西塔信弥君	建設整備室主査	谷口隆行君
建設整備室主査	鈴木光彦君		
監査委員	斉藤博哉君	書記	西村茂年君

6 議会出席職員

書記長	吉野久寿君	書記	浜屋武志君
書記	渡辺幸路君	書記	石川修平君

一般質問通告

宮川正己君

1. 平成27年度の決算見込について
2. 新年度（4月から）の診療体制について
3. 基金残高と経営シミュレーションの見直しについて

午前10時0分 開会

○議長（石田久就君） ただいまより本日をもって招集されました平成28年第1回広域紋別病院企業団議会定例会を開会いたします。

本日の出席議員数はただいまのところ10名であります。よって、開議の定足数に達しましたので、これより会議を開きます。

本日の会議録署名議員には、2番青木邦雄君、7番森田寛君の両君を指名いたします。

ここで諸般の報告を申し上げます。

渡辺書記。

○書記（渡辺幸路君） ご報告を申し上げます。

まず、本日の配付文書でございますが、本定例会議事日程、説明員等報告、一般質問通告書を配付してございます。

次に、本日の議事日程ですが、日程第1から第4までとなっております。

以上で報告を終わります。

○議長（石田久就君） これより本日の議事に入ります。

日程第1、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は本日1日間といたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。よって、会期は本日1日間と決定いたしました。

日程第2、一般質問を行います。

一般質問の通告者は4番宮川正己君であります。

発言を許します。

4番宮川正己君、登壇願います。

○4番（宮川正己君） おはようございます。

広域紋別病院は道から移管を受けてから早いもので満5年が過ぎようとしております。この間、新病院の改築事業が短期間にもかかわらず計画から実施までほぼ予定どおりに進み、昨年4月には新しい病院に入院患者さんとともに移転することができました。新病院は医療機器も最新のものとなり、駐車場も広く、病院の室内環境は冷房まで完備された近代的なすばらしい病院に生まれ変わったのであり、この地域の住民にとりましては、病院は将来的にもなくてはならない大事な医療機関であるのはもちろんでありますし、一日も早く本当に市民から信頼される病院になっていただきたいと思っております。

患者さんの評判によりますと、移転当初は電子カルテに変わったことから多少待ち時間が長かったようではありますが、今はその点も解消され順調に動いていると聞いております。

新病院になり、患者さんの推移は2月の臨時会において報告を受けておりますが、当初予算で見積もっていた収益を多少なりとも上回り、3,000万円以上の増額補正ができたことは何よりであります。

しかし、建物や医療機器が新しくなりますと、やはりどこの施設にも言えることではありますが、管理コストが相当にかかってまいります。広域病院も平成27年度の予算ベースでは何億円も管理経費が増え、収支不足額は当初予算計上時で約8億円に近いところまで増嵩いたしました。釈迦に説法ではありますが、病院の

経営はお医者さんの数との戦いであります。地域で求めている医者がたくさん集まると、自然と患者さんもつき、病院の売り上げは右肩上がりに上昇し、経営が安定することは言うまでもありません。広域病院はこの地域にとって大切な医療機関でありますので、どうか一日も早く病院が安定し、継続化していくことを切に願い、以下質問とさせていただきます。

初めに、平成27年度の決算見込みについてお尋ねをいたします。

2月の臨時会で人事院勧告に基づく給与費の補正のほか、不足が生じた材料費等の必要額を補正したところではありますが、不用額等の整理予算までの補正はありませんでしたので、収益的収支及び資本的収支の決算見込みはどの程度になるのか。また収支不足に対する基金収入補助金の支消額は幾らで済むのかお知らせください。

2点目は、来年度の診療体制についてお尋ねをいたします。

予算説明書を見ますと、来年度の1日平均患者数は、入院が62人、外来が340人となっており、平成27年度と比較して若干の伸びを示しております。また、給与費明細書の医療職（一）の人数は本年度より3名多い15名となっており、これに特別職の企業長を含めると、常勤医師数は16名体制になります。もしこのとおりに実現されますと、移管後一番多い医師数になるのではないかと思います。もう3月に入って半ば過ぎになりますので、恐らく4月以降の診療体制についてはある程度決まっているものと考えますが、具体的な診療科の体制と医師数についてお聞かせください。

3点目は、基金残高と経営シミュレーションの見直しについてお尋ねをいたします。

移管時に北海道から98億円と5億円を合わせた103億円が交付されましたが、もう既に5年が経過しようとしています。昨年の予算ベースの貸借対照表によりますと、平成27年度末の基金残高は59億6,100万円になる見込みでありました。逆算しますと、この5年間で43億3,900万円を支消したことになり、もう既に4割以上の基金を使ったことになります。平成23年度に策定した基本計画時の経営シミュレーションにおいては、5年間の3条と4条予算の計画値、いわゆる基金の投入額を合算すると43億6,700万円になり、たまたまですが、想定計画値と実支消額がほぼ近い数値になっております。

しかしながら、病院経営の根幹をなす常勤医師数は、例えば平成27年度の計画では17人に対して12人、連動して医業収益の売り上げも計画より大幅に減少しております。要するに計画と実績に大きな乖離が生じていることから、残り少ない基金をいかに長く大切にしながら地域医療を支えていくことが重要であると考えております。

そこで、お尋ねをいたします。

平成27年度の決算見込みを踏まえた年度末の基金残高は幾らになり、平成28年度末では幾ら残るのか。またこのような状況を踏まえ、現行経営シミュレーションを実行性ある計画に見直すべきと考えてますが、いかがでしょうか。

以上で私の質問を終わりますが、明快でわかりやすい答弁をお願いいたします。

○議長（石田久就君） 答弁を求めます。

千賀企業長。

○企業長（千賀孝治君） それでは、宮川議員のご質問にお答えいたします。

初めに、平成27年度の決算見込みについてであります。2月の臨時会において一部必要な収益及び費用を補正させていただいておりますが、決算見込みの比較については、当初予算比でお答えいたします。

収益的収支につきましては、1日平均入院患者数は57.4人で、入院収益は7億2,766万4,000円、1日外来患者数は323.6人、外来収益は8億390万1,000円、その他医業収益は1億1,719万4,000円で、医業収益全体では16億4,875万8,000円で、当初予算比では3,358万4,000円の増となります。このほか、医業外収益が13億9,235万円、特別利益が7億5,580万1,000円で、病院事業収益総体では37億9,690万9,000円となり、このうち収支不足額を補填する基金収入補助金は11億2,960万8,000円で、旧病院解体撤去分が4億3,175万2,000円、病院収支不足分が6億9,785万6,000円で、収支不足分は当初予算比で9,529万6,000円が圧縮できる見込みであります。

病院事業費用につきましては、給与費が14億2,803万5,000円で、当初予算比で8,384万7,000円の不用額が生じる見込みであり、主な要因は、看護師等の人員確保が予定どおり進まなかったことであります。このほかの経費は6億2,364万5,000円で、当初予算比1,678万6,000円の不用額が生じる見込みで、病院事業費用総体では37億9,690万9,000円で、1億135万8,000円の不用額が生じる見込みであります。

また、資本的収支につきましては、新病院の外構整備工事、医師公宅の繰越工事や医療機器等の購入事業が主な事業であり、建設改良費は1億4,214万3,000円、企業債償還金が666万円、貸付金等の投資が2,121万6,000円で、資本的収支総体では1億7,040万2,000円となり、当初予算比で8,594万3,000円の増となります。

これに対応する資本的収入は、企業債、他会計負担金、他会計借入金等で1億5,394万2,000円となり、医師公宅整備事業の繰り越し等により、当初予算比で1億234万9,000円が増加する見込みであります。なお、当初予算で計上しておりました基金収入補助金645万4,000円については、企業債償還金に係る交付税分の増により、基金繰り入れは実施しない予定であります。

2点目の新年度の診療体制についてであります。平成27年度におきましては、私を含め13名の常勤医による診療体制でありましたが、昨年来、常勤医の早期確保を目指し、道外で勤務する医師をも視野に入れながら、北海道や紋別市とも連携を密にし、その招聘に努めてきたところであります。

こうした取り組みの結果、平成28年度におきましては、4月に内科医が1名、6月に麻酔科医が1名、7月に整形外科医が1名それぞれ増える見込みであり、常勤医は15名体制となり、私を含めると診療体制は16名になります。各科診療科別の常勤体制で申し上げますと、外科3名、消化器内科2名、小児科3名、循環器内科1名、総合診療科3名、精神科1名、産婦人科1名、麻酔科1名、整形外科1名となる予定であります。このほか、呼吸器内科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、皮膚科、神経内科は非常勤体制で診療を行うほか、乳腺外来や小児心臓等の各専門外来も引き続き実施してまいります。

企業団といたしましては、良質な医療を提供するためには、医師をはじめとした医療従事者の確保は最も重要でありますことから、引き続きその確保に全力を尽くしてまいります。

3点目の基金残高と経営シミュレーションの見直しについてであります。平成27年度末の基金残高につきましては、決算見込みでお答えしたとおり、本年度の基金支消額は旧病院の解体分と収支不足分を合わせると11億2,960万8,000円になり、年度末では61億2,897万3,000円の残高となります。また、平成28年度末の基金残高については、予算ベースで収支不足額が12億2,598万8,000円であり、それを支消し、一部利子を積み立てますと49億1,125万3,000円になる見込みであります。

また、現行の経営シミュレーションの見直しにつきましては、現計画は平成24年度から平成33年度までの10カ年計画であり、5年が経過した中で、新病院の管理経費や減価償却費等が計画数値と大きく差が生じて

いるほか、患者数についても常勤医の招聘が計画どおりに進んでいないことなどから、収益及び費用面において計画とに差が生じております。このほか、国において、昨年、「公立病院改革プランの策定」について各都道府県等に対して自治財政局長通知が示されており、当企業団においても改革プランの策定が該当しているところであります。

したがいまして、企業団といたしましては、現在、北海道において策定している「地域医療構想」を踏まえた中で、将来的な経営基盤の安定化に向けた「新病院改革プラン」を平成28年度中に策定し、その中で新たな経営シミュレーションについても計画づくりを行ってまいりたいと考えてございます。

以上であります。

○議長（石田久就君） 以上で一般質問を終わります。

日程第3、報告第1号を議題といたします。

本報告は、監査委員からの報告であります。

報告第1号について質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

以上で質疑を終結いたします。

以上で報告を終わります。

日程第4、議案第1号を議題といたします。

本案について提出者の説明を求めます。

千賀企業長。

○企業長（千賀孝治君） ただいま上程されました議案第1号平成28年度広域紋別病院企業団病院事業会計予算につきまして提案理由のご説明を申し上げます。

本案は、条文形式予算第3条の収益的支出予定額は34億3,995万7,000円を計上し、これに対応する財源は医業収益及び医業外収益等で措置し、予算第4条の資本的支出予定額は2億7,398万5,000円を計上し、これに対応する財源は企業債及び他会計負担金等を充てますが、不足額については当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額と、並びに過年度分損益勘定留保資金で措置しようとするものです。

以上で提案理由のご説明を終わりますが、詳細の内容につきましては担当の事務局長よりご説明をさせていただきます。

○議長（石田久就君） 久保田事務局長。

○事務局長（久保田政弘君） それでは、ただいま上程されました議案第1号平成28年度広域紋別病院企業団病院事業会計予算につきましてご説明申し上げます。

本案の病院事業会計予算につきましては、地方公営企業法に定められた条文方式でありますことから、議案の条文に従いましてご説明いたしますので、議案第1号の病院事業会計予算をお開き願います。

初めに、第2条の業務の予定量であります。病床数150床に対し、年間患者数は入院で2万2,630人、外来で8万2,620人を予定し、1日平均患者数は入院で62人、外来で340人を予定しております。また、建設改良事業は、医療機器購入に係る資産購入費であります。

次に、第3条の収益的収入及び支出の予定額であります。収入において第1款病院事業収益は34億3,995万7,000円を見込み、支出において第1款病院事業費用は病院事業収益と同額を計上しておりますが、当年度費用を賄う収益が見込めないことから、医業外収益の基金収入補助金で収支の均衡を図っております。

す。

次に、第4条の資本的収入及び支出の予定額であります。収入において第1款資本的収入は7,671万4,000円を見込み、資本的支出については2億7,398万5,000円を計上し、財源不足分を当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額並びに過年度分損益勘定留保資金で補填し、収支の均衡を図っております。

次のページをお開き願います。

第5条の債務負担行為であります。新たな債務負担行為を設定するもので、事項、期間及び限度額については記載のとおりであります。

第7条から第10条につきましては、さきにご説明いたしました第3条予算及び第4条予算関連の議決事項であり、それぞれ予算に係る必要な事項を定めようとするものであります。

引き続き、お手元の予算説明書に基づき予算の実施計画をご説明いたしますので、3ページ目をごらん願います。

初めに、収益的収入及び支出であります。収入におきまして1款病院事業収益34億3,995万7,000円、1項医業収益17億4,653万5,000円、1目入院収益7億8,913万円で、内容は1日平均入院単価と入院患者数に基づく入院収益であります。

2目外来収益8億3,587万1,000円で、内容は1日平均外来単価と外来患者数に基づく外来収益であります。

3目その他医業収益1億2,153万3,000円で、内容は資産貸付収益及び普通交付税、特別交付税の紋別市負担金のほか、記載のとおりであります。

2項医業外収益16億7,092万1,000円、1目受取利息配当金956万7,000円で、内容は有価証券利息等であります。

2目他会計負担金6,796万8,000円で、内容は紋別市ほか構成市町村負担金及び特別交付税等の紋別市負担金であります。

3目補助金13億2,813万円で、内容は基金収入補助金及び普通交付税等構成市町村補助金のほか、記載のとおりであります。

4目患者外給食収益26万1,000円であります。

5目長期前受金戻入2億4,694万9,000円で、内容は償却資産に充当されている財源に係る減価償却費見合い分の収益化であります。

6目消費税及び地方消費税還付金1,000円は勘定科目の設定であります。

7目その他医業外収益1,804万5,000円で、内容は紋別市休日夜間急病センターからの病床バックアップ事業収入のほか、記載のとおりであります。

3項特別利益2,250万2,000円、1目固定資産売却益1,000円は勘定科目の設定であります。

2目過年度損益修正益2,250万円で、内容は過年度分診療報酬再請求等で修正益であります。

3目その他特別利益1,000円は勘定科目の設定であります。

次のページをお開き願います。

次に、支出におきましては、1款病院事業費用34億3,995万7,000円、1項医業費用33億4,377万4,000円、1目給与費16億6,086万円で、内容は企業団職員の給料、手当ほか記載のとおりであります。

2目材料費4億3,216万4,000円で、内容は薬品費ほか記載のとおりであります。

3目経費7億2,965万8,000円で、内容は委託料のほか記載のとおりであります。

4目減価償却費5億653万8,000円で、内容は器械備品減価償却費のほか記載のとおりであります。

5目資産減耗費459万3,000円で、内容はたな卸資産減耗費等であります。

6目研究研修費996万1,000円で、内容は医師等の研究研修旅費のほか記載のとおりであります。

次のページをごらん願います。

2項医業外費用6,858万1,000円、1目支払利息及び企業債取扱諸費454万5,000円で、内容は企業債利息であります。

2目企業団議会費160万円で、内容は議員報酬など企業団議会運営経費であります。

3目企業団監査委員費68万円で、内容は監査委員報酬など企業団の監査執行経費であります。

4目消費税及び地方消費税134万5,000円、5目長期前払消費税勘定償却1,986万2,000円で、内容は病院改築工事等で発生した控除対象外消費税に係る償却費であります。

6目その他医業外費用4,054万9,000円で、内容は紋別市に支払う過疎債利息の企業団負担金及びたな卸資産の購入に係る控除対象外消費税であります。

3項特別損失2,760万2,000円、1目固定資産売却損1,000円は勘定科目の設定であります。

2目過年度損益修正損2,760万円で、内容は過年度分診療報酬の返戻等修正損であります。

3目その他特別損失1,000円は勘定科目の設定であります。

次のページをお開き願います。

次に、資本的収入及び支出であります。収入におきましては、1款資本的収入7,671万4,000円、1項企業債1,290万円、1目企業債同額で、内容は病院事業債であります。

2項他会計負担金5,997万2,000円、1目他会計負担金同額で、内容は病院事業債交付税措置分等の紋別市負担金であります。

3項他会計借入金384万円、1目他会計借入金同額で、内容は過疎債発行額のうち、交付税措置されない分の紋別市借入金であります。

4項固定資産売却代金、1目固定資産売却代金及び5項返還金、1目貸付金返還金いずれも1,000円は勘定科目の設定であります。

支出におきましては、1款資本的支出2億7,398万5,000円、1項建設改良費2,602万4,000円、1目固定資産購入費同額で、内容は医療機器更新等に係る購入経費であります。

2項企業債償還金2億2,601万8,000円、1目企業債償還金同額で、内容は病院事業債元金償還金であります。

3項長期借入金償還金217万6,000円、1目長期借入金償還金同額で、内容は過疎対策事業債のうち、交付税措置されない紋別市借入金元金償還金であります。

4項投資2,976万7,000円、1目貸付金1,020万円で、内容は看護師等修学資金貸付金であります。

2目基金956万7,000円で、内容は基金運用益に係る財政調整基金積立金であります。

以上、平成28年度の広域紋別病院企業団病院事業会計予算のご説明を終わらせていただきますので、ご審議いただきますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（石田久就君） これより議案第1号について質疑を行います。

まず、議案第1号収入支出のうち、支出について質疑を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

以上で議案第1号収入支出のうち、支出についての質疑を終結いたします。

次に、議案第1号収入支出のうち、収入について質疑を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

以上で議案第1号の質疑を終結いたします。

これより採決いたします。

議案第1号は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認めます。よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

以上をもって本定例会に付議されました案件は全部終了いたしました。

平成28年第1回広域紋別病院企業団議会定例会はこれをもって閉会します。

午前10時31分 閉会

以上、会議録の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長

署 名 議 員

署 名 議 員